

(川津) 総合理工学部 1 号館改修

■ 当施設は、地域からの要請及びミッションの再定義に基づき、平成30年度に行った理系学部・研究科の改組を踏まえ、Society5.0（超スマート社会）に必要とされる数理・データサイエンス教育の推進及び地域の強みを生かした特殊鋼関連産業の魅力化を担う人材育成を強化するため新たに開設する「マテリアル創成工学特別プログラム」の実践、都市圏への人材流出を抑えるための高大接続による教育カリキュラムの開発・実践に必要なスペースを、現在、取り組んでいる地方大学・地域産業創生交付事業「先端金属素材グローバル拠点の創出-Next Generation TATARA Project-」による地域産業研究拠点のスペースと一体的に整備し、地域志向型課題探求エリアとして活用することにより、高校・大学・地域産業の連携を図るとともに、社会人の学びなおしを含むキャリアデザイン拠点へと変貌させる。

■ 工事場所：松江市西川津町1, 060（島根大学川津団地構内）

■ 改修延面積：2,506㎡

■ 建築面積：568㎡

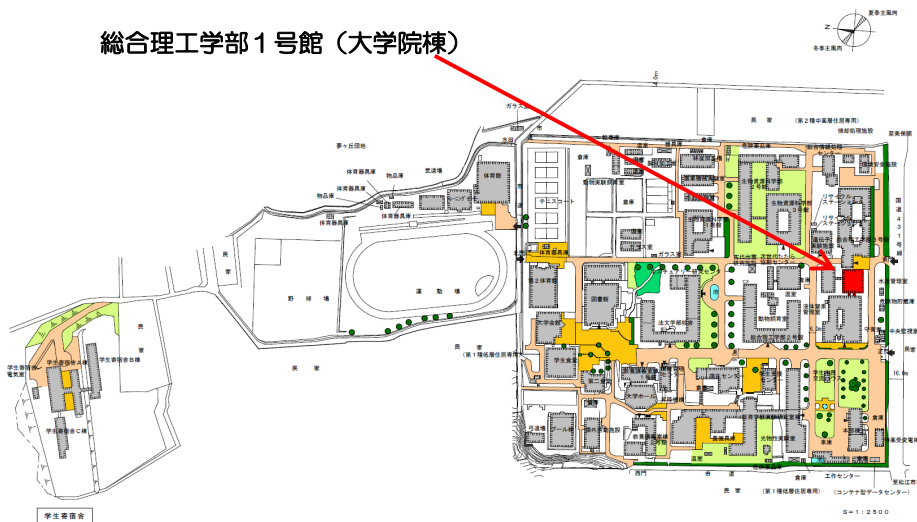
■ 構造・階数：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階建

■ 設計：（建築）（株）村田相互設計
（設備）（株）ティビィエム

■ 施工：（建築）（株）鴻池組
（電気）神州電気（株）
（機械）（株）豊和設備

■ 工期：令和2年8月～令和3年3月（令和3年4月供用開始）

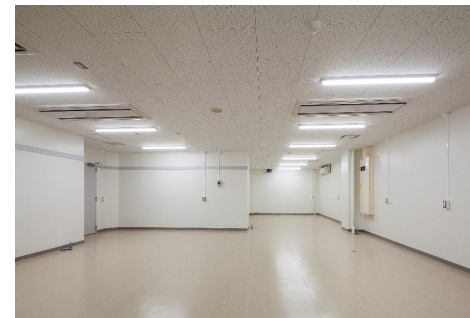
総合理工学部 1 号館（大学院棟）



■ 外観（南面）



■ 全学共用講義室



■ 総合科学研究支援センター実験スペース



■ 環境分析研究実験室



■ ラーニングcommons



■ 院生研究室